



令和4年度 校長だより

令和4年10月6日(木)

# 春日の風

No.8

文責 松下 義彦

## 前期終業式にあたって

みなさん、こんにちは。

さて、今日で2学期制の前期が終わります。この前期の6ヶ月間をふりかえって、みなさんはどんなことを思いますか。

コロナ禍の中、思うようにできていなかった学校行事も形を変えながらではありますが少しずつ実施できるようになってきた今年。前期だけでも数多くの学校行事がありました。新1年生の入学式に始まり、3年生を中心に学校全体がまとまった5月の体育会。昨年中止になって残念な思いをしていた3年生の修学旅行も1泊2日ではありますが長崎に行くことができました。そして、仲間と共に暑い夏も寒い冬も一生懸命汗を流し、励まし合いながら頑張ってきた部活動の中体連大会や吹奏楽コンクールもありました。どの部も最後まで一生懸命がっばっていました。その結果、多くの部で良い結果を残してくれました。そして、夏休み明けには、コロナの感染状況が心配される中、1年生の自然教室も1泊2日で実施することができました。このような様々な活動を通して、君たち一人一人が大きく成長している姿を見ることができて、校長先生はうれしく思います。この後もらう通知表を校長先生も生徒全員分見せてもらいましたが、その中にも、みなさん一人一人のこれまでの頑張りを担任の先生がしっかり書いてくださっています。しっかり読んで後期の生活に生かしてください。

さて、明日からは4日間の秋休みに入りますが、ゆっくりする暇もないと思います。1・2年生の部活動生は新人大会があります。夏以降3年生が引退した後、新チームで頑張ってきたことをしっかり発揮して、良い成績を収めてきてください。「強い意志」と「あきらめない気持ち」をもち『為せば成る』の精神で頑張ってください。

3年生にとって、後期は自分の進路を決定していく大事な時期になります。進路決定はもう目の前に迫っています。そのためにも秋休みとはいえ、この4日間を有意義に過ごすよう各自が工夫してください。まだ、気持ちが進路に向いていない人はこの4日間で気持ちを変える必要があります。今は苦しいかもしれませんが、ここを踏ん張らないと自分の目指す進路はつかめません。

元プロ野球選手のイチローさんが次のようなことを言っています。

「小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただひとつの道だと思っています」イチロー(プロ野球選手)

これは、毎日地道にこつこつとやり抜くことの大切さを言った言葉です。

勉強も同じです。今まであまりやっていた人がいきなり、4・5時間も勉強するのは難しいでしょう。毎日少しずつの時間でもいいのでこつこつと休まずに取り組み、少しずつ時間を延ばしながら力をつけていってください。

それでは、来週の始業式に元気に笑顔で会いましょう。

